

<p>事案名</p>	<p>札幌市（北海道陸軍兵器補給廠厚別常駐班）の事案（北海道 1 - 1 4 - 1）</p>
<p>フォローアップ調査資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・証言（元陸軍兵器補給廠厚別常駐班の曹長の証言）〔 2 〕 ・「厚別弾薬庫 開設 1 0 周年記念誌」昭和 3 8 年 2 月 1 日〔 3 〕 ・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について」平成 1 5 年 1 0 月 2 0 日〔 4 〕 ・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ再調査結果について」平成 1 5 年 1 0 月 1 0 日〔 6 〕
<p>追加資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「厚別弾薬庫 開設 1 0 周年記念誌」昭和 3 8 年 2 月 1 日〔 A 1 〕 ・『平成 1 6 年度国内における旧軍毒ガス弾等に係る情報収集及び取りまとめ業務報告書』〔 A 2 〕 ・証言（元陸軍兵器補給廠厚別常駐班の曹長の証言）〔 A 3 〕 ・「各事案における地下水の利用状況」〔 A 4 〕 ・『平成 1 6 年度 B / C 事案における第 2 次地下水調査業務 報告書』〔 A 5 〕
<p>平成 1 5 年度 フォローアップ調査報告書の要約</p>	<p>生産・保有情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元陸軍兵器補給廠厚別常駐班の曹長の証言情報として、終戦時、厚別弾薬庫及び小樽出張所に毒ガス兵器が存在していたと記載されている〔 2 〕。 ・厚別弾薬庫では大量のあか筒を保有しており、終戦時に小樽沖に海中投棄および留萌市内の廃坑に埋設し、爆破処理された〔 3 〕〔 4 〕。 <p>廃棄・遺棄情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元北海道陸軍兵器補給廠厚別常駐班の曹長証言情報として、あか筒は小樽湾に海洋投棄し、この作業で死亡したのは 6 名であったと記載されている〔 2 〕。 ・厚別弾薬庫では大量のあか筒を保有しており、終戦時に小樽沖に海中投棄および留萌市内の廃坑に埋設し、爆破処理された〔 3 〕〔 4 〕。 <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚別常駐班（厚別弾薬庫）跡には、公共施設、商業施設、医療機関等が建設されている〔 6 〕。

<p>新たな情報</p>	<p>その他情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道陸軍兵器補給廠厚別弾薬庫は、昭和19年に設置された〔A1〕。 ・北海道陸軍兵器補給廠厚別弾薬庫跡周辺は、人工地盤整備、デパート、スーパー、総合病院、高層オフィスビル、ホテル、地下鉄等が建設されている〔A2〕。 ・昭和20年9月17日の米軍進駐までに処理が行われ、「イペリットはドラム缶一杯ほど地中埋没させた」と記載されているが〔A1〕、埋設したのはドラム缶1本分のイペリット臭の付いた水（持久ガス現示筒）であったと証言している〔A3〕。 ・北海道陸軍兵器補給廠厚別弾薬庫跡周辺での地下水調査（札幌市）は、平成6年と平成16年にそれぞれ1カ所の井戸で実施されている。地下水調査の結果、ヒ素は、平成6年度・平成16年度ともに環境基準値（0.01mg/l）以下であった〔A4〕。 ・環境省が実施した地下水調査の結果、毒ガス関連成分は検出されなかった〔A5〕。
--------------	---

事案名	札幌市（第6陸軍技術研究所札幌研究室）の事案（北海道1-14-2）
フォローアップ調査資料	・「本邦化学兵器技術史〔年表〕」昭和32年2月〔1〕
追加資料	・『平成16年度B/C事案における第2次地下水調査業務報告書』〔A1〕
平成15年度フォローアップ調査報告書の要約	生産・保有情報 ・終戦時に、市内の教育施設の研究室には第6陸軍技術研究所札幌研究室が存在し、青酸の研究が行われていたと記載されている〔1〕。
新たな情報	その他情報 ・環境省が実施した地下水調査の結果、毒ガス関連成分は検出されなかった〔A1〕。

事案名	札幌市（旧北海道立工業試験場）の事案（北海道 1 - 14 - 3）
フォローアップ調査資料	・化学室担当者ノート「戦後における旧軍毒ガス弾等の処理の状況(14.6)」〔 5 〕
追加資料	・「毒ガス弾に関する環境省現地調査（札幌市案件）について」〔 A 1 〕 ・『平成 1 6 年度 B / C 事案における第 2 次地下水調査業務 報告書』〔 A 2 〕
平成 1 5 年度フォローアップ調査報告書の要約	発見・被災・掃海等処理情報 ・北海道警本部長の要請を受けた自衛隊は、昭和 5 2 年 1 1 月に、北海道札幌市で発見されたホスゲン容器 1 個・毒ガスサンプル 6 個をコンクリート詰めにした後に海中投棄したと記載されている〔 5 〕。
新たな情報	発見・被災・掃海等処理情報 ・昭和 5 2 年 1 1 月に、北海道立工業試験場が旧所在地から現在の所在地に移転する際に、旧道立工業試験場倉庫にあった毒ガスサンプル等を自衛隊に引き渡したとの証言があるが、本事案における毒ガスサンプル等の入手経路については不明である〔 A 1 〕。 その他情報 ・環境省が実施した地下水調査の結果、毒ガス関連成分は検出されなかった〔 A 2 〕。